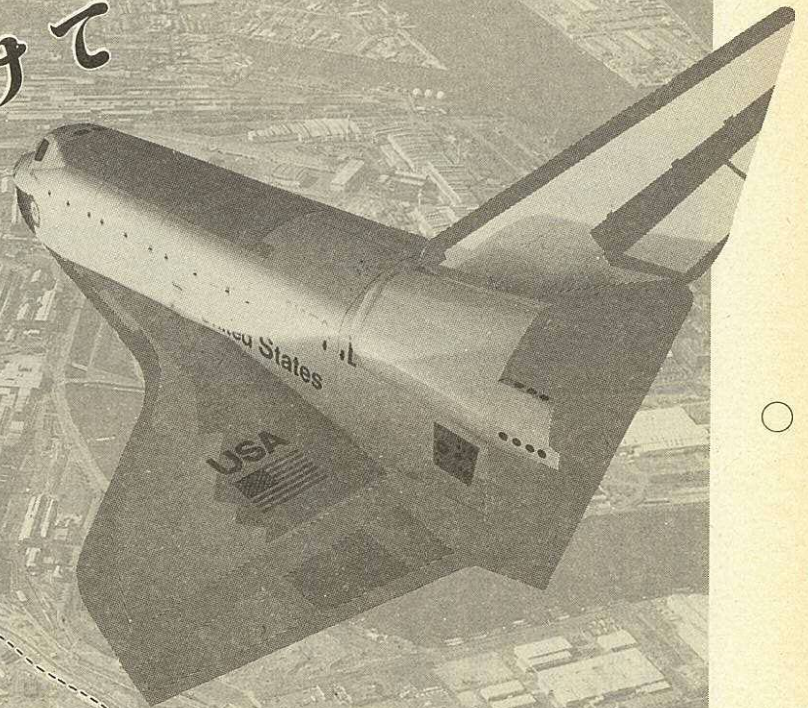


北九州市から

21世紀に向けて



スペースワールド

2月定例会の概要

審議日程

2/23	(開 会)	
	本 会 議	・議案上程、提案理由説明
24~3/1	(議案研究)	
3/2、5	本 会 議	・代表質疑
6、7	本 会 議	・一般質疑
8	本 会 議	・一般質疑、予算特別委員会設置
9、12	常 任 委 員 会	・議案審査
13	本 会 議	・常任委員長報告、討論、採決
	予算特別委員会	・分科会設置
14~16.19.20.22	予算特別委員会	・議案審査
23	常 任 委 員 会	・請願・陳情審査
26	本 会 議	・予算特別委員長報告、討論、採決 ・議員提出議案上程、提案理由説明、採決 ・請願・陳情採決
	(閉 会)	

平成二年二月北九州市議会定例会は、二月二十三日から三月二十六日までの三十二日間の会期で開かれました。

市長から提出された議案は、平成二年度予算二十五件、平成元年度補正予算十件、条例二十六件、専決処分の報告二件、その他十八件の合計八十一件です。

審査の結果、すべての議案を可決しました。

一方、議員から提出された議案は八件で、北九州市議会委員会条例の一部改正など六件を可決しました。

平成二年度予算を可決

総額八、四七八億円

ルネッサンス構想推進に向けて

一般会計初の4千億円台に

2月定例会

学術・研究振興基金条例（新設）を可決



北九州国際会議場完成予想図

この定例会では、北九州市ルネッサンス構想の実現に向け、第1次実施計画に掲げる342事業を盛り込んだ平成2年度当初予算をはじめ、環境保全や学術・研究振興を目的とする基金の設置、北九州国際会議場設置のための条例議案などを可決しました。

なお、決まった主なものは、次のとおりです。

市長提案 理由説明〈要旨〉

国際テクノロジー都市へ

平成二年度は、「北九州市ルネッサンス構想第一実施計画」の第二次として、「水辺と緑とふれあいの国際テクノロジー都市へ」に向けて積極的に取り組みます。そこで、同計画に掲げた施策三百九十七件のうち三百四十二件を盛り込み、二年度末

市長から提出された主なもの

◎平成二年度当初予算

- ・一般会計
- ・四、一四八億四、一〇〇万円
- ・特別会計（十九会計）
- ・三、一三六億四、六一五万円
- ・企業会計（五会計）
- ・一、一九三億一、六一五万円
- ・総額
- ・八、四七八億一、三三〇万円
- ◎平成元年度補正予算
- ・補正総額八七億九三三万円
- ◎条例の制定
- 北九州市国際交流施設の設置及び管理に関する条例
- 北九州国際会議場（小倉北区浅野）を設置
- 北九州市学術・研究振興基金条例
- 北九州市環境保全基金条例

には全施策の八十八%に着手することになっています。美しく住みよい街づくりを

交通体系の整備を促進

今年度は、「ルネッサンス構想」による本格的な街づくりの第一歩を踏み出す年です。幸い、本市における経済活動は活発化しつつあり、雇用状況も順調に推移しています。このような状況を背景に、美しく住みよい街づくり、あるいは年長者・障害者・女性が生き生きと暮らせる街づくりを進めます。

また、「国際テクノロジー都市」としての機能を育むため、未来に向けて、街の基盤整備を推進します。なかでも、北九州空港の整備、新北九州空港の建設、九州自動車道や都市高速道路、北九州道路の一元化問題など交通体系の整備は、重大な局面を迎えますが、皆様のご協力をいただきながら、積極的に促進していく決意です。

◎条例の一部改正

- 北九州市事務分掌条例
- ・市民局を新設、衛生局を保健局に名称変更、公害対策局と環境事業局を統合し環境局を新設
- 北九州市職員定数条例
- ・職員定数を六八〇人削減
- 北九州市社会福祉施設の設置及び管理に関する条例
- ・重度心身障害者施設を市立総合療育センターに併設
- ・香月児童館を移転改築
- 北九州市国民健康保険条例
- ・保険料賦課限度額
- ・四〇万円（現行三九万円）
- 北九州市産業観光施設の設置及び管理に関する条例
- ・小倉城の改装に伴い、使用料を引上げ（平均二〇%）
- 北九州大学条例

- ・日本語教育センター設置
- ・コミュニティ・コース
- ・受講制度を創設
- 北九州市自動車事業使用料及び手数料条例
- ・持参人式定期旅客運賃（無記名の定期券）新設
- 北九州市奨学資金条例
- ・貸付金月額三四、〇〇〇円（現行三二、〇〇〇円）以内

請願（採択されたもの）

- 第二号 木屋瀬宿駅西構口の保存について
- 第二十九号 透析患者のタクシー利用補助について
- 第三十六号 私学助成の拡充について
- のうち
- ・市内の私立学校に対して、設備整備費、教職員研修費補助の増額を行うこと

議員提出議案（可決されたもの）

条例	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市議会委員会条例の一部改正 総務財政委員会の所管に、市民局（新設）を加える。 公害衛生委員会を保健環境委員会に改め、所管を保健局（新設）、環境局（新設）、病院局とする。
意見書	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険制度の改正に関する意見書 ・パートタイム労働者の労働条件改善に関する意見書 ・私学助成の強化に関する意見書 ※これらの意見書は、関係行政庁に送付します。
決議	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆとり宣言に関する決議 労働時間の短縮など、ゆとり創造のための条件整備に全力を尽くすため、「ゆとり宣言」を行う。 ・暴力による言論圧殺に抗議し、絶滅を期す決議

陳情（採択されたもの）

- 第二十九号 中高層建築物等指導基準の早期見直しについて
- のうち
- ・紛争の予防と調整の機能を持った指導基準とすること
- ・紛争が生じた場合、市長および学識経験者等、第三者で構成する紛争調整委員会を設置すること
- 第三十号 調整、調停機能を持つ建築物指導基準の作成について
- 第三十六号 蒲生地区の高層マンション建設反対について
- のうち
- ・市民の住環境を守る建築指導要綱を早期に策定実施すること

質疑応答

本会議で、十九人の議員が、議案や市政全般について、質問を行いました。その中から、いくつかをとりあげました。



中長期的な視点に たった財政運営を

▼平成二年度予算をめぐって▲

議員 二年度予算は、一般会計が当初予算として初めて四千億円台に達するなど、積極型予算となっています。

ルネッサンス構想の実現には、莫大な財源と財政の健全性の確保が必要であると思えます。今後、どのように財政運営を行うのですか。

なお、一般会計予算をみると、歳入では市税収入の対前年度伸び率が四・七％と大変高くなっており、また、歳出では、公債費や扶助費などの義務的経費が本市発足以来、初めて前年度を下回っています。その理由についてお尋ねします。

市長 ルネッサンス構想を具体化していくには、中長期的な視点にたつて、健全財政を維持しながら事業を進めることが必要です。

二年度の財政状況は一時に比べ好転していますが、高齢

一元化の見通しについてお尋ねします。

また、今後のスケジュールや一元化後の通行料金はどのようになるのですか。

市長 一元化問題については、市、県、高速道路公社は、道路公園に対し、北九州道路等の移管を要請してきました。

先日、引継価格、支払い方法、料金徴収上の諸問題等の条件が整えば、要請に応じるという回答を得ました。このことは、実現に向けて大きく前進したものと思います。

今後は、道路公園との協議、協定締結を行った後、法律上の手続きを経て、料金徴収所の設置工事などの運びとなります。

二年度中には必ず実現するよう努力していきます。

なお、一元化後の通行料金は、均一料金制となります。一元化によって、従来より料金負担が大きくなるものに対する暫定措置が少しでも長く設けられるよう、国に要望しているところですが。

二年度内に 一元化を実現

▼都市高速道路と北九州道路▲

議員 北九州都市高速道路と北九州道路等との管理等の一元化については、先に、市長は、二年度の予算編成時期頃までにスケジュールの目途を立てたいと表明されました。

議員 先般、トヨタ自動車の宮田町への進出が発表されました。

関連企業の誘致等を 図っては

▼トヨタの宮田町進出▲

議員 先般、トヨタ自動車の宮田町への進出が発表されました。

自動車産業は、数多くの関連企業を必要とし、また、付

モノレールと JR小倉駅の結節は

議員 モノレール小倉停留場とJR小倉駅との結節については、市民をはじめ各方面から、その強化が求められています。

モノレール利用者の利便性向上の面からも、モノレールをJR小倉駅まで延伸して相互乗り入れを実現すべきだと思いますが、いかがですか。

市長 モノレールの結節については、市民各層からいろいろな意見が出ています。そこで、二年度に、その調査を積極的に進めていくことにしています。

結節方法としては、モノレールを延伸する案、上空立体歩道橋で結ぶ案、それに既に都市計画決定している地下歩道案の三つが考えられます。

いずれの方法を選ぶかは、経済性、市街地再開発へのインパクト、景観、利便性を検討しなければなりません。

今後、検討結果をもとに、各方面の意向も踏まえながら、できるだけ早い時期に結論を出したいと考えています。

ごみ収集の 週二回完全実施

議員 二年度から、一般ごみの週二回完全収集が計画されています。どのような方法で実施するのですか。

また、週二回完全収集を現

って、非常に好ましいことと考えています。

建設時期など詳細な計画はまだ明らかにされていませんが、本市としても、トヨタに対し、関連企業の誘致や港湾施設の活用、従業員住宅の確保などについて、積極的に働きかけていきたいと考えています。

請願・陳情



請願・陳情は、市民の要望や意見を、市議会を通じて広く市政に反映させるためのものです。

請願を行う場合には、議員の紹介が必要です。

市民から提出された請願・陳情は市議会にて審議し、採択したものは市長など関係機関に送付し、その実現に努めています。

行の人員体制で実施した場合、収集の時刻が遅くなり、まちの美観や衛生上の問題が生じるのではありませんか。

環境事業局長 家庭でのごみの保管期間をより短くするため、二年度から祝日ごみ対策として、週二回確実に収集することにしました。

現在の人員や機材体制などから、勤務条件や経済性などを考慮すると、祝日の前日に収集する方法が最も適当と考えています。

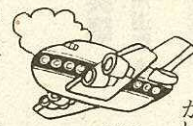
この祝日前日収集の場合、従前の祝日の際に行われていた一週間分のごみ収集に要する時間に比べ若干延びる場合もありますが、現状と大差はなく、したがって、まちの美観を損うものではないと考えています。



現空港再開と 新空港建設の見通しは

議員 現空港再開に向けて、騒音対策やアクセス道路等、積極的な取組がみられます。そこで、来年四月開業の可能性、また、東京便の確保は大丈夫なのか、お尋ねします。一方、新空港については、漁業補償交渉が遅れています。が、今後の見通しはどのようなになっているのですか。

企画局長 現空港については、現在滑走路本体工事が順調に進められています。今後、無線施設、進入灯等の航空保安施設やターミナルビルの建設も行われることになっており、特定の事情がない限り、三年四月一日には開業できるものと考えています。



東京便確保については、二年度以降に残されている東京便の枠は五便程度と言われている。先般、第四港湾建設局、県市等の間で、土砂処分場に係る補償と空港建設に係る補償促進のため、全市的規模の体育、文化祭(年長者スポーツ・カルチャーフェスティバル)を開催します。

要援護者から 健康者まで

▼年長者福祉対策▲

議員 高齢化の進展に伴い、今後、痴呆性や寝たきり年長者の増加が予想されます。年長者対策について、市の基本的な考え方や施策の内容をお尋ねします。

また、国は在宅福祉に関する緊急整備計画を発表しましたが、市はどのように推進していくのですか。

市長 年長者対策については、援護が必要な年長者に対する施策とともに、健康で生きがいのある生活を送るための健康年長者対策を推進していくことが必要です。

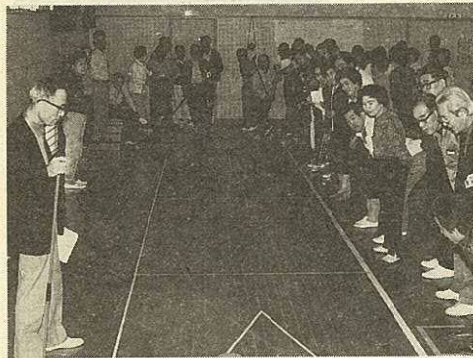
そこで、要援護年長者対策として、その家族に介護指導等を行う在宅介護支援センターの建設や老人ホーム、老人

保健施設の整備を進めます。また、健康な年長者に対しては、専用ゲートボール場整備のための調査やシルバー人材センターの充実、年長者研修大学校・周望学園の整備を行います。

民生局長 在宅福祉施策として、二年度末までに、在宅での生活を支援するホームヘルパーを二百六十六名に、通所者に介護サービスを行うデイ・サービスセンターを九カ所に拡充します。

また、一時的に家族の介護が受けられない場合、施設に短期間滞在し、そのサービスを受ける(シヨートステイ)利用人員を二百名に増やします。

一方、健康づくりを促進するため、スポーツ大会への助成等を行うシルバースポーツ振興事業を実施するほか、社会参加



います。このうち最低二便を確保することは、大変厳しい状況です。

そこで、皆様のご支援をいただき、運輸省に全力で働きかけていきたいと思っております。

なお、新空港予定地である土砂処分場建設に係る漁業補償交渉は、第四港湾建設局が中心となって進めています。

物流基地の建設を

を一括して交渉に当たる旨の基本方針を決定しました。今後、漁業組合内の手続きを経て、本格的な漁業補償交渉に入るようになります。本市も第四港湾建設局、県等と協力しながら、交渉妥結に向け努力していきます。

議員 本市経済の衰退の一因には、空港など交通輸送機関の未整備による流通業、卸売業等の不振が考えられます。先般報道された、トヨタの宮田町進出に関連する車両積み出し港問題などを考えると、物流基地、流通団地や卸売団地を早急に整備する必要があると思えます。市長の考えをお聞かせください。

市長 ルネッサンス構想では、物流基地として、港湾機能の整備が進んでいる新門司地区をその適地の一つとして位置づけています。この計画に沿って、現在、九州縦貫自動車道新門司インターチェンジ建設、フェリー埠頭の整備、さらにトラックターミナル等流通関連施設用地の造成に取り組んでいます。また、今後都心・副都心の整備が進めば、市内にも業務流通団地が必要となりますが、この整備についても並行して検討しなければならぬと思っております。

拡幅後の 渡橋料補助の内容は

▶若戸大橋◀



市長 市は、現在、小型乗用車・貨物車等の二百五十回回数券利用者に対し、通行料金の一部を補助しています。今回の料金改定に際し、小型乗用車などは車種区分が普通車に変更されますので、今後は、この普通車を対象に料金の補助を行う考えです。

議員 本年四月からの若戸大橋四車線供用開始に伴い、渡橋料が改正されます。現在市が行っている渡橋料の一部補助は、今後どのようなになるのですか。

したがって、回数券割引と合わせると、一回二百円の通行料金は百三十円になります。

航空宇宙産業の 可能性は

議員 本市にとって、産業構造の円滑な転換は、緊急な課題となっております。現在、市において、航空宇宙産業技術基盤調査委員会を設置し、戦略的な産業振興策としての航空宇宙産業導入・育成の可能性について調査・検討が進められています。



この委員会での議論のなかで、航空機整備事業に力を入れるべきだとか、航空宇宙関連部品・部材の供給基地を目指してはどうか、などのご提案があつて

います。そこで、二年度からは、新空港の建設計画も踏まえ、航空機整備事業の可能性を絞った調査を行うことも考えています。

市長 現在、調査委員会に

都心・副都心の 交通体系の整備を

議員 都心・副都心部に於ける交通体系の整備は、同地区活性化の最大の課題となっています。

小倉都心部の一方通行規制解除、路面電車の存廃問題及び黒崎駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消等の問題は、早急に検討する必要があると考えます。

今後の見通しについてお聞かせください。

都市計画局長 一方通行規制解除問題は、小倉都心部交

女性が活躍する まちに

▼女性ライフプランに沿って

議員 国際化・高齢化が進展している今日、女性の意欲や能力を一層社会に生かしていくことが求められています。女性の社会参加について、市はどのように取り組んでいるのですか。

民生局長 昭和六十三年度に実施した北九州市の女性に関する実態調査によると、女性の就業者は約五十三%となっており、また、社会活動に参加しているのは約五十八%と着実に増加しています。

今後、女性が生き生きと活躍するまちの実現を図るため

通計画調査委員会から小倉都心部活性化のためには、一方通行規制の解除が望ましく、

また、解除に当たっては、中の橋の四車線化と路面電車の廃止が必要である、との報告があったところです。

度末に完成する予定で、都心部の外周道路である浅野町愛宕線も、同時期の完成を目標に整備を進めています。したがって、一方通行規制解除に必要な道路整備は、三年度末に整うこととなります。

路面電車の存廃問題については、九州運輸局に設置された北九州都市圏交通体系整備

現在策定中の（仮称）北九州女性ライフプランに沿って、女性の人材バンクやふるさと創生事業としてアジア女性交流・研究フォーラムを設置するなど、女性の活躍の場を広げていく考えです。



推進協議会において今後審議が行われます。早急に結論が得られるよう九州運輸局に積極的に働きかけていきたいと考えています。

この問題は、広く市民の意向を反映する必要があることから、市民にアンケート調査を実施しました。調査結果は市議会や北九州都市圏交通体系整備推進協議会に報告することにしており、そこで十分議論していただきたいと考えています。

なお、黒崎駅周辺の交通渋滞解消のため、黒崎バイパスの整備を建設省に強く働きかけているところです。

乗客サービスの 向上を



議員 近年、住民のバス離れ現象は全国的な傾向にあり、バス事業を取り巻く環境は大変厳しい状況です。

本市のバス事業の経営健全化のためには、乗客サービスの向上に積極的に取り組む必要があると思います。

交通局長 乗客サービスと利便性向上のため、四月からの若戸大橋四車線供用開始に併せ、全面ダイヤ改正を行います。この主な内容は、中型

旧門司三井倶楽部を 移築しては

▼門司港レトロ

議員 門司港レトロめぐり海峽めぐり推進事業を民間の立場から進めるため、昨年十月、門司港開発準備会は、総事業費八百億円、二年度から十一年を事業期間とする基本計画案を発表しました。

この計画を推進するためのプランづくりや事業主体はどのようになるのですか。

なお、門司区谷町の旧門司三井倶楽部（門鉄会館）を門司港駅と並ぶ観光の中核施設として、この建物を移築して

はいかがですか。

企画局長 門司港開発準備会は、基本計画案を具体化するため、施設計画や採算性などについて調査検討を行っています。この結果を踏まえて、事業推進のための具体的なプランや事業主体の設立が行われるものと考えています。

市としては、道路整備や港湾再開発など約三百億円の公共事業を行い、民間の事業が推進されるよう、その基盤づくりに努めていく考えです。また、旧門司三井倶楽部は、門司

港レトロめぐり海峽めぐりの観光案内館的な施設として、JRR門司港駅前に移築し保存活用を図りたいと思います。



保険料の抑制を

▼国民健康保険

議員 国民健康保険料の限度額の引き上げが提案されています。

被保険者の負担軽減を図るため、一般会計から国民健康保険特別会計への繰入額を増やすべきではありませんか。

また、医療費の適正化のための安定化計画の実施によって、医療費抑制の効果は上がっているのですか。

民生局長 国民健康保険制度では、保険者が支払う医療費は、その半分を国の補助金で、残りを保険料で賄うことが原則となっています。

保険料をできるだけ低く抑えるため、二年度は一般会計から約六十三億円を繰り入れることにしています。厳しい財政事情からみて、これ以上繰入額を増額することは困難と考えています。

一方、本市は、医療費が著しく高い団体として指定され、医療費適正化のための施策を実施しています。

その主な内容は、診療報酬明細書点検の充実、被保険者への訪問保健指導、成人病予防健診の充実などです。

これらの実施により、少しずつではありますが成果がみられています。今後さらに、疾病の予防に努めるなど医療費の適正化を図っていきます。

シンボルとなる公園を

▶公園見直し調査◀



ずしも十分とは言えませんが、市は、公園の見直しを実施することですが、その内容をお尋ねします。

市長 本市には約千三百の公園がありますが、開設して二十年以上を経過した公園も数多くみられます。

議員 本市の市民一人当たりの都市公園面積は、政令市第二位と高い水準に達していますが、その利用状況は必

ずしも十分とは言えませんが、市は、公園の見直しを実施することですが、その内容をお尋ねします。

高度な医療サービスを提供

▼総合基幹病院▲

議員 総合基幹病院については、来春の新棟完成に向け、工事が着々と進んでいます。基幹病院にふさわしい高度な医療サービスを行うため、どのような医療機器を整備するのですか。

また、病院業務の近代化のためのシステム導入計画についてお尋ねします。

病院局長 総合基幹病院は、がんセンターの充実、出産前後の周産期医療の確立、救急患者などを二十四時間監視する集中治療部の新設、成人病対策など専門医療の整備を図ることにしています。具体的には、がんセンターに安全性、画像解析力の高い

磁気共鳴断層診断装置などを設置するほか、周産期医療対策として、分娩や未熟児の監視モニターを整備します。

さらに、集中治療部には、重症患者用の監視装置、また、成人病対策として、脳卒中、狭心症、心筋梗塞などの診断に用いる血管造影撮影装置などを導入します。

なお、病院業務のシステム化については、自動再受付機の設置のほか、カルテなどの自動検索システムや自動走行台車などを導入し、カルテ、フィルムを検索のスピードアップと搬送の効率化等

見直しに当たっては、公園の専門家や国際的視野を備えたかたの意見を聞きながら、進めたいと考えています。

イメージアップ 事業の取組は

議員 このたび、市は、イメージアップ(CI)事業を推進するため、新しい市役所職員づくりのための市役所コンセプト(基本的な考え方)と新しい北九州市のイメージづくりのための都市コンセプト案を発表しました。

また、新しい市役所・職員づくりのコンセプト「明日を創る挑戦市役所」を決めました。今後全庁をあげて積極的に取り組む考えです。

企画局長 市役所コンセプト



総合基幹病院イメージ図

さらに、現在の医事会計システムに加え、新患カルテの自動作成、各種検査データの集約事務なども電算化する考えです。

生涯学習の推進を

議員 余暇時代の増大や高齢化社会の進展に伴い、生涯を通じて学習できる基盤の整備が必要となっています。

市長 CI事業は、新しい北九州市の都市イメージづくりと再生・活性化を積極的に推進できる市役所・職員づくりの二つを柱に進めています。

国際交流の推進に向けて

議員 国際交流の推進に向け、市は、北九州国際交流協会設立のため、基本財産として、二億円を予算計上しています。

同協会は、その運用益で事業を実施することですが、基本財産をもっと増額すべきではありませんか。

また、二年度に予定しているアジア研修生、留学生の受け入れ推進基礎調査の内容や留学生対策についてお尋ねします。

二年度から事業の企画や学習者の相談に応じる(仮称)生涯学習推進コーディネーターを公民館に配置する計画です。

北九州大学事務局長 北九州大学の専門課程を市民が年間を通じて受講できるように、新たにコミュニティ・コースを設けます。

今後、協会の具体的な活動内容等の検討と並行して、民間のかたにもお願いしながら、その充実にも努めていきます。

企画局長 アジア研修生、留学生の受け入れ推進基礎調査は、アジアを中心とした開発途上国からの研修生、留学生を受入れるための新しい研修システムについて基礎的な検討を行うものです。

この調査をもとに、国の留学生受け入れ十万人構想に沿った留学生受け入れに協力するとともに、アジアの学術研究都市の実現を目指します。

留學生対策については、国際交流協会を中心に、支援の内容、費用負担のあり方等について議論し、事業の具体化を図っていききたいと思ひます。

地球環境保全 対策は

議員 昨年、本市で開催されたアジア大都市廃棄物問題国際会議で、ごみと地球環境問題が取り上げられました。

今や、地球環境問題は、地方公共団体においても積極的に取り組む必要があると考えます。

市は、この四月から、環境局を新設することですが、地球環境保全を推進するための市の組織づくり等についてお尋ねします。

なお、ごみの減量や環境保全の観点から、再生紙の利用促進を図るべきではありませんか。

市長 地球環境保全について、国と連携して実施すべき事項は、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

総務局長 近年、環境行政に対する市民のニーズは、これまでの公害防止や自然環境の保全にとどまらず、やすらぎや潤いのある快適な生活環境へと変化しています。

そこで、総合的な環境行政を積極的に行うため、環境事業局と公害対策局を統合し、環境局を新設することにしました。

公害対策局長 環境保全事業を継続的に実施するため、このたび環境保全基金を設けることにしました。

環境事業局長 ごみの減量化・資源化は、環境保全の面からも重要な課題と考えています。

そこで、全庁的に、本年一月から古紙回収を実施し、さらに四月からは、再生紙を使用することになりました。

今後、集団資源回収コンテナストヤリサイクルバザール等の開催を通して、紙等資源の回収や有効利用を市民に呼びかけるほか、事業者に対しても、過剰包装や使い捨て容器



の自粛を強く働きかけていきます。

平成二年度を「ごみ減量化・資源化元年」と位置づけ、粘り強く取り組んでいきたいと思えます。

登校拒否の 現状と対応策は

議員 市は、魅力ある学校づくりや療育キャンプの実施など種々の施策に取り組んでいます

ますが、登校拒否問題は、ますます深刻化しています。

そこで、登校拒否の現状と今後の対応策についてお尋ね

勝山公園内地下 駐車場の建設計画は

議員 市は、駐車場に対する市民の強い要望に応え、小倉北区勝山公園に一般の人も利用できる地下駐車場の建設を計画しています。

完成後、一般の利用者が多いことなどから、市役所来庁者の駐車ができなくなる心配がありますが、十分対応できるのですか。

また、建設工事期間中は、周辺道路の交通渋滞が予想されますが、対応策をどのように考えていますか。

なお、都心部には今後とも多くの駐車場が必要だと思います。民間駐車場の整備促進のための施策についてお尋ねします。

また、電話による相談窓口として「登校拒否一〇番」を開設する考えはありますか。

教育長 本市における登校拒否児童生徒数は、昭和五十七年頃から増えはじめ、昭和六十三年度は、学校ごらゐを理由に年間五十日以上欠席した児童生徒数は、小学校で二十九人、中学校で百八十八人という深刻な状況です。

そこで、この問題を解決するため、昨年に続き登校拒否児童生徒療育キャンプを実施するほか、登校拒否児童生徒の

都市計画局長 地下駐車場の収容台数は、五百台を計画しています。

都心部全体の駐車場需要等からみて、十分なものは考えていませんが、現在の本庁舎敷地の位置、形状や採算性を考慮すると、一応適切な規模と考えています。

また、市役所来庁者の利用は平日に限られ、一般買物客は休日主体であることから、来庁者の駐車に大きな支障はないと判断しています。工事期間中は、市庁舎周辺に代替駐車場を設ける予定です。

なお、民間駐車場の整備については、市の駐車施設の付置及び管理に関する条例に基づく指導のほか、建設補助制度や国の助成制度を活用しながら建設促進に努めていきたいと考えています。

また、子供たちにとって学校生活が明るく充実したものとなるよう、わかる授業の推進、教職員研修の充実に取り組むとともに、学校ごらゐ等不適応対策研究委託校を増やすことにしています。さらに、教育センターや少年相談センターの専任相談員も増員し、指導体制の充実を図ります。

ご提案の「登校拒否一〇番」の開設については、今後十分検討したいと思えます。



都市活性化対策 特別委員会

この委員会は、本市の都市活性化について、調査研究を行うための委員会として、十人の委員で構成されています。

調査事項は、既存企業の新分野進出、技術開発を支援するための施策や企業誘致、雇用対策に関することです。

また、地域経済の活性化等の観点から、産業観光や女海レク・リゾートなど観光資源開発のあり方や、市有地、企業の遊休地の活用についても調査研究に取り組んでいます。

紫川と周辺市街地を一体的に整備していくマイタウン・マイリバー事業についても調査研究を進めています。

委員会 すぼしと



都市再開発 特別委員会

この委員会は、十一人の委員で構成され、次のような調査研究活動に取り組んでいます。

まず、小倉駅前や黒崎駅前など都心・副都心地区における再開発事業の進め方などの調査研究を行っています。

また、八幡西区や若松区などに所在する鉱害地区の復旧・開発に関する事項や



市役所組織改正の内容は

委員 市民のニーズに適切に対応し、行政運営を行うためには、機能的、有機的な組織づくりが必要です。

市は、組織改正を予定していますが、その目的と改正内容についてお尋ねします。

当局 今回の組織改正は、ルネッサンス構想第一次実施

計画を積極的に推進するとともに、今後急速かつ多面的な進展が予想される国際化、高齢化、高度情報化等に対応していくため実施するものです。

新しく設置する部は①福祉、保健、教育等多岐にわたる高齢化問題に対応するため「高齢化社会対策室」（民生局）

②地域文化の再発見等文化事業の推進を図るため「文化部」（教育委員会）

③女性の社会参加促進を図るため「女性行

政推進部」（市民局）

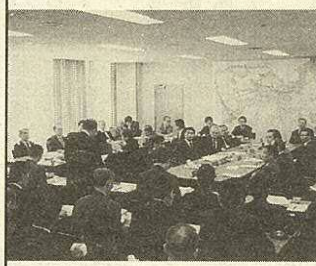
④国際交流基盤整備や玄海レク・リゾート構想等地域開発を推進するため「地域開発推進部」（企画局）

⑤門司港レトロ事業関連の整備促進を図るため「企画開発部」（港湾局）です。

今後とも簡素で効率的な組織づくりを念頭に、行政運営を進めていく考えです。

（注）局は二面四段目を参照

予算特別委員会の審査から



3月8日に設置された予算特別委員会は、三つの分科会に分かれて、審査を行いました。その中から、いくつかをとりあげました。

制度化へ向けて努力

▼個人情報保護制度▲

委員 現在、市は、個人情報保護制度について検討を行っています。その内容等についてお尋ねします。

当局 個人情報保護のため、内部組織である北九州市個人情報保護制度検討委員会において、本市の実情に即した制度のあり方について検討しています。

その内容は、個人情報の範囲、電算処理以外の情報や民間部門が所有する情報の取扱

い、情報の収集、利用、提供の規制の方法などです。

これらは、いずれも、個人の権利やプライバシーに係わる難しい問題であり、広く学識経験者などの意見を聴く必要があるか、についても併せて検討したいと思えます。

今後、少しでも早く制度化できるように努力していきます。

市民の

マナーアップを

委員 市のイメージアップを図るためには、まず、市民が、わがまち、わがふるさとを

情報発信機能を

市内に

▼新民放テレビ局誘致▲

委員 現在、北九州市に新しい民放テレビ局を誘致する運動が進められています。その現状と今後の見通しについてお尋ねします。

当局 テレビ局の誘致については、これまで、新民放テレビ局北九州市誘致推進協議会とテレビ局の経営母体となる日本経済新聞社との間で話し合いが行われてきました。

新聞社は、北九州市の状況に十分理解を示し、市内に情報発信機能を備えた施設を設置する、との歩み寄りの姿勢を示したと聞いています。

そこで、推進協議会は、現実的な解決を図る時期と判断し、今後の対応を代表幹事に一任した、と伺っています。

市としても、このような情勢からみて、新聞社とのトップ会談において、この決着を図る時期と考えています。

原因究明と

今後の対策は

▼外壁はく落事故▲

委員 元年十一月の住宅・都市整備公団昭和町団地の外壁はく落事故以来、市内には同様の事故が相次いでいます。事故の原因究明や今後の対策についてお尋ねします。

また、今後、緊急事態に備えて、市営住宅修繕費など

を六月又は九月の補正予算に計上すべきではありませんか。

当局 外壁はく落事故対策は、原因究明が一番重要です。本市は、外壁はく落事故の建物所有者に、事故状況や原因調査の報告を求め、その内容は建設省にも伝えていきます。

さらに、中高層建築物の所有者に対し、外壁の点検及び報告を求めていく考えです。

また、建設省は、外壁タイプ等落下物対策専門委員会を

常時申込受付を

行っては

▼市営住宅募集▲

委員 市営住宅は、応募者が多く入居が困難な団地がある反面、応募者が少なく空き家の多い団地もみられます。

そこで、現在実施している年三回の定期募集を常時募集に改めて、常時入居できるようにしてはいかがですか。

また、入居に係る収入基準の見直しも必要と思えますが、

設置し、施工方法の改善、改修方法など、原因の究明や今後の対策を検討しています。

市は、同委員会での原因解明後、早急に今後の対策に取り組みたいと思えます。

なお、危険防止のための修繕費等は、一般の予算に組み込んでおり、その効率的な執行により対処していく考えです。補正予算については、必要な事態が生じれば、その段階で考えたいと思っています。

市の考えをお聞かせください。

当局 入居募集は、定期募集と常時募集の二本立てに対応しています。状況によっては柔軟性のある運用も検討したいと思っています。

なお、入居に係る収入基準は、政令に基づいて定められています。現行の基準は、昭和六十一年に定められたことから、国は、見直しの検討を始めたと聞いており、市も国に対し、基準の見直しを要望していきたいと考えています。

食生活全般について

調査・検討を

委員 長寿社会が進展する今日、市民の健康志向を背景に、食生活の見直しを求める気運が高まっています。

そこで、中学校生の昼食という観点から、学校給食の枠にとらわれず、食生活全般

に関する調査・検討を行ってはいかですか。

当局 市民全体の食生活のあり方を幅広く研究することは大切だと考えています。

今日、中学生の昼食を含めた食生活全般について、市民の関心は高くなっており、保健局が発足するのを機会に、幅広く検討していきたいと考えています。